

事業名

# 堀川こども団

～堀川商店街との協働『堀川こども新聞』～

京都新聞の記者さんや、伏見区で子ども新聞を作っている人が教えに来てくれたよ。



お古のパソコンを、いただきました！それを使って、自分たちで調べたり、記事を書いたりしました。



商店街の中にある No.317  
(現: アニユアルギャラリー  
No.317) も活動に使わせてもら  
ったよ！

実施団体

# 子どものよいよい 育ちを支える会

年に2回の堀川まつり  
お客様もいいけど、お  
店を出すのも楽しいな♪



ワッフル。試作した通り  
にうまく焼けるかな？



「どこから来ましたか？」  
シールを貼ってもらって、  
アンケート調査をします。



「いらっしゃい！」  
「美味しいですよ。」  
役割分担して売ろう。  
店番は交代でしょう。



木曜日は  
**こども団**  
堀川商店街へ行こう。

チヨコ入りが人気！  
看板も描きました。

# 完成！『ほいかわこども新聞』



2019年11月に結成した「堀川こども団」

当時小学2年生だった子どもたちも、4年間の活動期間を経て、この春、小学校を卒業し、中学生になります。

こども団の活動を通して、「地域にはいろんな大人がいる」「自分の住んでいるところなのに知らないこともたくさんある」など、たくさんの気づきを得た子どもたちです。

令和5年10月には、堀川商店街にknocks! horikawaができ、商店街に念願のこども団の基地をつくることができました。

商店街に足を運ぶ用事ができたことで、いつも通るルートのお店などは認識できるようになりました。

今年度取り組んだ『堀川こども新聞』は、その堀川商店街界隈の大人的方たちと、子どもが、お互いに持ち味を出し合って活動を進めました。それぞれの力をかけ合わせてできることの可能性を感じた反面、子どもの主体性を尊重することと、それを最大限に發揮させる大人のかかわり方やしきけ、バランスについて、常に模索し続けた一年間でした。

“子どものよりよい育ちを支える”って、楽しい！そして難しい！



## 活動テーマ:『自分のまちを誇れるように』

これからも、堀川こども団は、  
地域の人と人をつなぐ“ハブ”となり、動き続けます。

子どもも大人もつながり、チャレンジできる  
上京区でありますように！

4/1 堀川こども団2期生、発足！

「We are C(コロナ)世代！」

～やさしく、かしこく、しなやかに育て！～



活動を次の世代へと受け継ぎながら、ひとりひとりが“まちの担い手”となって、大きくのびのびと成長してほしいと思います。